

初心者のための 製品開発の TRIZ プロセス

『TRIZ 実践と効用』 シリーズ 第 3S 巻

『階層化TRIZアルゴリズム (入門編)

– 初心者のための図で学ぶ教材』

Larry Ball 著、高原利生・中川 徹共訳

好評発売中

2014年 7月刊行、クレプス研究所

ソフトカバー、B5版、カラー 56頁、定価 1,200円＋税

ISBN978-4-907861-06-3 (製本版)



ロシア生まれの技術革新の技法 TRIZ (トリーズ) を、米国の技術者Larry Ball が消化して再編し、製品開発の一貫プロセスとして、初心者向けに分かりやすく、沢山の図を使って説明したものです。本シリーズ第3巻の内容のうちの初心者向けのページを抽出して、薄くて安価な本にしました。

内容面の紹介・解説 => 『TRIZホームページ』内 <http://www.osaka-gu.ac.jp/php/nakagawa/TRIZ/jlinksref/CrePS-Books/3-LarryBall-HTA-2014/3S-LarryBall-HTA-BookBeginners-140721.html>

現場での私たちは、直近の問題解決や製品の改良などの仕事に忙しいわけですが、著者は、「顧客ニーズに沿った新しい製品を開発するときの本来のプロセスを、いつも頭に置いて仕事をせよ」と薦めます。それがタコツボに入るのを防ぎ、より広い目で、より本質的な解決をする方法だからです。その本来のプロセスは、「ビジネスと市場のニーズを発見する → 売り物とする取り柄 (鍵となる機能) を特定する → 機能の諸要素を理想化する → 機能の諸要素の諸性質 (属性) を理想化する」という順に進むものです。それが情報決定の論理的な順番だからです。このプロセス中で、機能や性質を、望むようには作れないことがいろいろ出てきます。その問題が起こる原因を考え、いろいろな性質を大きく変えて考えてみることを薦めます。いろいろな性質を大きく変えると、さまざまな矛盾が明確になり、そこで進化を発揮するのがTRIZの矛盾解決の方法です。矛盾解決の方法に関する沢山の図による分かりやすい説明は、Larry Ballの本書の最大の特長です。

複線的な従来のTRIZを再編し、西側の考えを入れて、統一した「現代化TRIZ」の入門書です。

定価：製本版： 定価 1,200円 (税込 1,296 円) (送料無料)

この入門編の電子書籍(DL)版はありません。

購入サイト (製本直送 + デジタルダウンロード)

サイト: DLmarket

<https://www.dlmarket.jp/>

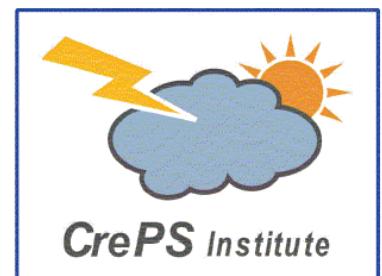


販売ページ (DLmarketサイト内のクレプス研究所のページ):

https://www.dlmarket.jp/manufacture/index.php?consignors_id=10832

クレジット支払、銀行支払(先払い) 可。書店販売はしていません。

発行所:



クレプス研究所 (代表: 中川 徹)
277-0086 千葉県柏市永楽台3-1-13
Tel & FAX: 04-7167-7403
Eメール: nakagawa@ogu.ac.jp

製本版はすべてカラー印刷で、図が分かりやすくなっています。
上記のDLmarketサイトで注文すると、約10日で製本・直送されます。

中川 徹 (大阪学院大学名誉教授)
公共サイト『TRIZホームページ』編集者
www.osaka-gu.ac.jp/php/nakagawa/TRIZ/